

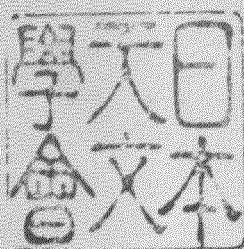
天文月報第二十七卷第十二號附錄 昭和九年十二月一日發行

自昭和九年一月
至昭和九年十二月

(西紀一九三四年)

天文月報

第二十七卷



日本天文學會

天文月報 第二十七卷 總目次

論 說

二十四時通算法の可否

理學博士 平山清次 一號 一頁

圓軌道の計算法に就いて

理學士 廣瀬秀雄 一 三

日食の問題

理學士 野附誠夫 二 二一

正確なる時の測定及び最近の經度測量に就いて

ガストン、フワイエ 二 二四

谷家天球儀の調査

小川清彦 三 四一

昨年十二月二十日に於ける金星、土星の掩蔽の觀測記錄

理學士 石井重雄 三 四七

南洋日食觀測隊の觀測概況

理學士 藤田良雄 四 六一

本年二月十四日の日食觀測記錄

理學士 神田茂 四 六三

變光星の分光學的研究(一)

理學士 服部忠彦 五 八一

日蝕觀測紀行

理學士 渡邊敏夫 五 八四

變光星の分光學的研究(二)

理學士 服部忠彦 六一〇一
ロースツプ島感想 理學博士 荒木俊馬 六一〇六

日食と月の位置 理學士 福見尙文 七一三一

南洋に於けるイオン層の冬期狀態及び昭和九年二月十四日の日食時に於ける電波觀測

海軍技術研究所 工學博士 伊藤原勉 七一三二

工學博士 伊藤庸二

京都帝國大學附屬圖書館所藏の天球儀

安田辰馬 七一三九

續支那星座管見(一)

小川清彦 八一四一

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(一)

射場保昭 八一四七

阿州の曆算學者小出長十郎先生と其の使用天球儀

安田辰馬 九一六一

續支那星座管見(二)

小川清彦 九一六八

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(二)

射場保昭 九一七二

天體寫眞術の根本問題(一)

理學士 吉田正太郎 十一八一

續支那星座管見(三)

小川清彦 十一八五

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(三)

射場保昭 十一九〇

星の構造と水素

理學士 長澤進午 十一二〇一

續支那星座管見(四)

小川清彦 十一二〇七

天體寫眞術の根本問題(二)

理學士 吉田正太郎 十一二一一

續支那星座管見(五)

小川清彦 十二二二一

天體寫眞術の根本問題(三)

理學士 吉田正太郎 十二二二六

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(四)

射場保昭 十二二三二

恆星の溫度

W・M・H・グリーヴス 一一八

第五十一回定會記事

フワイエ氏小傳 一一一

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(五)

二二七

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(六)

二二七

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(七)

二二七

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(八)

二二七

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(九)

二二七

望遠鏡並に天體寫眞に關する私見(十)

二二七

アルミニウムの反射鏡	五	九四	會員消息	六	一一七	一九三三年のウ・ルフ太陽黒點數	十一	一九四
電氣望遠鏡	五	九五	惑星出入一覽圖	六	一一七	アルミニウム鏡による星の紫外スペクトル	十一	一九五
發見電報規約の變更	五	九六	三月に於ける太陽黒點概況	六	一一七	經度の變化	十一	一九五
新彗星ジャクソン	五	九六	無線報時の修正値	六	一一七	ニース一東	十一	一九六
軌道面傾斜の大きい小惑星	五	九六	イオン化大氣層に及ぼす流星雨の影響	七	一三七	シュワスマン・ワハマン彗星(1929 I)	十一	一九六
木星の斑點	五	九六	二百吋望遠鏡	七	一三七	天體物理學綱要の完成	十一	一九六
日本數學物理學會年會	五	九六	ジェファース發見の天體	七	一三八	新著紹介	十一	一九七
新著紹介	五	九七	彗星だより	七	一三八	月面ピオ山附近の龜裂	十一	一九八
天文學談話會記事	五	九八	新著紹介	七	一三八	學界消息	十一	一九八
二月に於ける太陽黒點概況	五	九八	四月に於ける太陽黒點概況	七	一三八	七月に於ける太陽黒點概況	十一	一九八
無線報時の修正値	五	九八	無線報時の修正値	七	一三九	無線報時の修正値	十一	一九八
太陽の赤外スペクトルに就て	六	一一一	小惑星の番號	八	一五七	天文器械に對する九月二十一日の關西の風水害	十一	二一五
太陽彩層の高さ	六	一一一	連星系の質量の減少	八	一五七	週期の極めて短い新變光星	十一	二一七
コロナのフラウンホーフアースペクトル	六	一一一	零座β星の謎	八	一五七	新著紹介	十一	二一七
木星の斑點	六	一一二	新著紹介	八	一五八	八月に於ける太陽黒點概況	十一	二一七
惑星の光度變化	六	一一二	日本天文學會要報第三卷第二冊	八	一五八	無線報時の修正値	十一	二一七
太陽及び星の化合物質	六	一一三	東京天文臺報第二卷第二冊	八	一五八	長週期變光星一九三五年の推算極大	十一	二一八
色過數とカルシウム靜止線の強さ	六	一一三	五月に於ける太陽黒點概況	八	一五八	天文學談話會記事	十一	二一九
銀河系の外にある星雲の數	六	一一三	無線報時の修正値	八	一五八	馭者座と星の減光	十二	二二六
カルシウム雲の局部集中と銀河中心の距離	六	一一四	エンケ彗星	九	一七六	日本天文學會要報第三卷第三冊	十二	二二六
新著紹介	六	一一四	グリニヂの新反射望遠鏡	九	一七六	東京天文臺報第二卷第三冊	十二	二二六
天文學教室談話會記事	六	一一五	掩蔽現象の各地豫報について	九	一七六	プレアデスの掩蔽	十二	二二七
天文學談話會記事	六	一一五	新著紹介	九	一七七	九月に於ける太陽黒點概況	十二	二二七
日本天文學會要報第三卷第一冊	六	一一六	六月に於ける太陽黒點概況	九	一七七	無線報時の修正値	十二	二二七
東京天文臺報第二卷第一冊	六	一一六	無線報時の修正値	十一	一九四		十二	二三七
			ハワイに於ける日中の大流星					

觀測

太陽のウオルフ黒點數(一九三三年十、十一、十二月)	三五八
太陽のウオルフ黒點數(一九三四年一、二、三月)	六一八
太陽のウオルフ黒點數(一九三四年四、五、六月)	九一七八
太陽のウオルフ黒點數(一九三四年七、八、九月)	十二二三八

天象

各月の主なる天象

流星群

變光星

東京(三鷹)で見える星の掩蔽

星座及び惑星だより

號	頁	號	頁	號	頁
一	一九	二	三九	三	五九
四	七九	五	九九	六	一一九
七	一三九	八	一五九	九	一七九
十一	一九九	十二	二一九	十三	二三九
號	頁	號	頁	號	頁
一	二〇	二	四〇	三	六〇
四	八〇	五	一〇〇	六	一二〇
七	一四〇	八	一六〇	九	一八〇
十二	二〇〇	十三	二二〇	十四	二四〇

附錄

變光星の觀測(一)	一頁
變光星の觀測(二)	三頁
一九三三年變光星の極大極小の觀測	五頁
變光星の觀測(三)	七頁
變光星の觀測(四)	九頁
アルゴル種變光星の觀測	九頁
變光星の觀測(五)	一一頁
變光星の觀測(六)	一二頁
累年變光星觀測發表數	一三頁
一九三四年變光星觀測發表數	一三頁
一九三四年觀測者別觀測數	一四頁
一九三四年變光星別觀測發表數	一四頁

口繪

南洋日食觀測隊寫眞(二面)
 コロナ及び閃光スペクトル
 南洋日食觀測隊寫眞